

学習のアドバイス 3年生理系の学習法

今後の学習について先生方にアドバイスをいただきました。

現 代 文

・4月7日臨時登校日に配布した「国語科より 受験生の皆さんに向けて」というプリントを参照し、**基礎知識定着のための学習**に取り組む。

・**小論文対策**…志望する分野に関する知識が十分でないと、入試直前になっても小論文の内容が深まらず苦勞する！今のうちに対策をしておこう。

① **新聞(社説欄)を毎日読む。**

(色々な分野の文章を読んで、自分の中の引き出しを増やすため。
綺麗な文章を読んで自分の文章力を向上させるため。)

② **小論文の頻出テーマについての記事をネットで検索して読む。**

(「第一小論Net」の小論文入試情報ライブラリーもおすすめ。)

③ **新書を読む。**

(進路室や図書室にあるものを貸し出します。借りたい人は声をかけてください)

④ **スクラップブックづくり**

(自分の志望分野に関する記事の切り抜きを貼る、ニュースの内容を書き留める)

⑤ **過去問を見る。**

(志望校が定まっている人は一度確認しておこう。)

古 典

・4月7日臨時登校日に配布した「国語科より 受験生の皆さんに向けて」というプリントを参照し、**基礎知識定着のための学習**に取り組む。

・**QUIZLET**を活用。

みんなの古単語帳「古文単語325」と対応しているので、小テストのつもりでやってみよう。スマホで使用可 (使用方法は別紙。)

・**古典の漫画**をよむ。

(源氏物語は入試頻出!「あさきゆめみし」がおすすめ。)

公 民

勉強法は人それぞれ。自分にあったやり方を早く見つけよう！

- 授業プリントを一通り学習する。できなかった箇所マークし、重点的に復習する。
- ある程度知識がついてきたら、教科書やプリントを速読する。→流れの理解につながる。
一巡目は大変だが、回を重ねるごとに時間が短縮され理解が深まる。
(三巡目以降は本当に理解と定着が強固なものになります！)
→ 参考書などの高度な知識も基本がしっかりできていると、身につけやすくなる。

① まず、全体の流れをつかもう！

- ・教科書や授業プリント、ノートを学習して基本を押さえる。
- ・3巡目でもよくわからないところは、印をつけておく。

② 流れをつかんだら、細かい事項を詳しく学習しよう！

- ・問題集に取り組む。問題集などで出てきた見たことがない事項については、その都度教科書やノートに書き込んで強化していく。→ どんどん情報量を増やしていく。
- ・教科書は説明が簡略化されている部分があるので、理解を確かなものにするためにも、それを補う必要がある。参考書や資料集・用語集は知識や理解を深めるのに強い味方。活用して見識を広めよう！
- ・単に暗記するだけではなく、理解することが大切。
- ・一つのキーワードからどんどん連想できるようにトレーニングする。
- ・日本国憲法は政治分野の基本。必ず学習すること！（教科書P228～234）

③ 模試・定期考査・実力考査の活用方法

- ・定期考査で勉強したことを忘れないようにすることが大切。→ 受験勉強時間の短縮に
- ・模試は必ず、復習しよう！できなかった問題を教科書やノートにまとめておくと効果的！

④ 入試本番で高得点をとるために！

- ・共通テストでは、単に用語を理解しているだけでは解答できない！思考力が問われる。教科書の太字は重要語句だが、それを説明している太字でない箇所も重要である。このことを知らないと共通テストで高得点は難しい。
- ・センター試験過去問を10年分は解こう。
- ・私大入試で政経を受ける者は、志望大学の過去問を必ず5年分以上解くこと。
- ・時事問題も出題されるので、常に政治・経済の動向を新聞やニュースでチェックしておく。
- ・センター試験では、図表を読み解く問題が毎年出題されたので、必ず過去問で対策を！

⑤ 誰でも不安になる！不安になったら・・・

- ・一度覚えたことでも人は必ず忘れる。忘れることを恐れなくても大丈夫！そのために三巡以上、できれば入試までに五巡する！特に苦手なところは印を付けて何度でも繰り返す。そうすれば絶対に忘れない！

⑥ 注意事項

- ・焦っていい加減な学習をすると、身につかず時間の無駄になる。
- ・日本史・世界史と関連している内容が多いので、政経をしっかり学習することで相乗効果となる。→ 国語や英語など他教科の理解にもつながる。

⑦ 具体的な学習方法例

<朝鮮戦争>

(1) 朝鮮戦争

1. 【1：朝鮮戦争】(1950年6月～53年7月)

【2：大韓民国】+国際連合軍(アメリカ主力)

VS

【3：朝鮮民主主義人民共和国】+ソ連+中華人民共和國義勇軍

1951年7月【4：板門店】で休戦会談はじまる

1953年7月休戦協定の調印

2. 日本の前線基地化：連合軍の軍事基地

○【5：朝鮮特需】

- ・武器・車輛の修理、弾薬の製造などの軍事的発注が急増 → 日本経済の復興
- ・1951年には戦前の鉄工業生産水準を超える

○【6：警察予備隊】の創設(1950年8月) マッカーサーが吉田茂に書簡を送付

- ・在日米軍の朝鮮出動の空白をうめる目的で設置
- ・平和憲法をもつ日本の「再軍備」はGHQによる最後の占領改革となった

これを見て、どのように勉強しますか？「とりあえず、【】が六つあるから、そこだけ覚えよう」とか、「重要箇所の色をつけてみよう」などと思うかもしれませんが、どちらも大切なことです。しかし、一番重要なのは、「全体像(一連の流れ)を把握すること」なのです。

これだけの文面の中にも非常に多くの情報が盛り込まれています。順番に拾っていくと、①「朝鮮戦争」②「韓国と北朝鮮の戦い」③「資本主義と社会主義の戦い」④「アメリカとソ連の戦い」⑤「李承晩と金日成」⑥「板門店で休戦会談」⑦「北緯38度線の設定」⑧「朝鮮戦争により日本で特需が起こった」⑨「アメリカは朝鮮に出兵し、日本を守れなくなるので警察予備隊創設を命じた」⑩「警察予備隊は保安隊になり、自衛隊に発展していく」⑪「自衛隊の創設にはMSA協定が絡んでいる」⑫「自衛隊と憲法9条の関係の問題」⑬「朝鮮戦争は現在も休戦状態で停戦したわけではない」などなど、実に様々な内容が含まれていることがわかります。大切なのは、これらの情報を断片的に(一問一答的に)覚えるだけでなく、それぞれの情報を結びつけていくこと、つまり「連想」できるようにすることです。もっと言うと、今まで出てきた内容や、後に出てくる内容とも結びつけていくことが大切なのです。

今までになく大変な時ですが、健康第一に努め、後で後悔しないように今できることをしっかりとやってみましょう！

英 語

4月7日火曜日に配布した英語科からの連絡を参考に学習してください。

この期間に目標とするゴールを知ること！赤本を見て、最終的にどんな問題ができるようになるなければいけないのか知っておく。それなしで何を勉強したらいいのかは分からない。「大学受験パスナビ」に無料登録すると国公立大学の多くの過去問が手に入ります。まず、ゴールを知る→何を勉強したらいいか計画する→力がつくと信じて勉強する→テスト(過去問や入試対策問題集)・復習→勉強の優先順位をつけなおす→勉強→テスト→勉強の優先順位のつけなおし・・・この繰り返しをしていけば必ず力はつきます。

以下のサイトからweb学習できますので活用してください。

<https://quizlet.com/join/x6FYwubnr>

★大学進学を目指すキミへ

「マークより記述！」

勉強優先順位

1. 読解(記述)

2. リスニング

3. 上記の力を高めるためのStock・Scramble！ポロポロになるまで毎日必ず聞く！！

StockだけScrambleだけ勉強しても意味がない。部活でいえば、筋トレばかりして試合にでないようなもの。最後は、たくさん読んだ人・たくさん聞いた人が勝つ

共通テスト対策は、2学期以降たくさんやりますので今はまず、記述力をつける。これまでの卒業生は、共通テスト対策は週末課題や演習でやってきました。記述の力を高めるには時間がかかります。マーク方式の選択問題ばかりやっても記述力や正確な読解力はつきません。今は丁寧に読み、粘り強く記述問題に解答し、部分点を取れるようになる必要があります。制限時間内にすべての解答欄を埋める練習をしておくことが必要です。国公立大学の2次試験は基本的に落とす試験であり、選択式・マーク式で解答する問題はごくわずかです。赤本を見てみるといいと思います。その中で満点解答ができる受験生はほとんどいません。粘り強く記述し、部分点をかき集め7割以上(試験の難易にもよりますが)取れた受験生が勝ちぬけていきます。自宅で頑張っているみんなを応援しています。自分に厳しく！

数 学

・4/7配布「3年理系数学について」のプリントを参照

・「スタンダード解答の手引き」

スタンダードの予習は順調に進んでいますか。繰り返しになりますが、自分の頭で考えて、自分の言葉で解答を書くことが、数学の力をつけるためには必要です。

まずは自分で考えましょう。しかし、いくら考えても解けない問題もあると思います。15分悩んでも手がつかない問題がある場合は、チャート式のような参考書から類題を見つけ「考え方」などの項目から問題を解く手がかりを得てみましょう。

本来は自分でやることですが、授業ができない状況で演習が始まってしまったので、数問、見本程度にチャート式の類題を載せておきます。活用してください。

スタンダード	チャート式 類題番号	テーマ・ポイント	スタンダード	チャート式 類題番号	テーマ・ポイント
1(1)(2)	I 例 8, 13, 17	掛ける順番, 置き換え	1(3)	I 例 14	1文字で整理
2(1)	I 例 25		2(2)(3)	II 例 34, 35	分母の実数化
3(1)	II 例 14		3(2)	II 例 13	(分子の次数)<(分母の次数)の形に
8(1)	II 例 15	恒等式の係数比較法	8(2)	II 例 20	文字を減らして係数比較法
9	II 例 18 別解	(因数分解)=(余り0)	12	II 例 54 別解	あまりの置き方
16	I 例 37	不等式の解と条件	17	II 例 60	4次の相反方程式
20	I 例 99	2次方程式の共通解	25		平行移動. 2つの放物線が接する条件
27	I 例 126	共通点の範囲, 2次の係数 a に注意	34	I 例 80, 81	軸と区間の位置関係
35	I 例 88	展開を工夫し, 置換して2次に帰着	36	I 例 87	(1)1つの文字を定数とみて処理 (2)3変数関数, 文字を消去して(1)と同様
37	II 例 32, 13	相加平均相乗平均を利用, (1) $t=x+1$ と置く (2) $\frac{B}{A}=Q+\frac{R}{B}$ の形に			

また、これ以降の問題は、スタンダード冊子の各問題記載ページ左上にある単元名に注目して、チャートの目次から探してみたり、問題の式や求めるものの言葉を索引などで検索したりすると、見つけやすいかと思います。数学 I の知識だけではなく、数学 I と II の融合問題なども多数あるので、幅広く探してみましょう。

・理系の数学は記述力が命です。計算過程を軽く見ず、しっかり勉強しましょう。安易にマーク問題や共通テスト対策をしすぎないこと。11月からでも間に合います！！

物 理

新しい分野を自分で学習する場合、まずは教科書を読みましょう。内容がわかったら、セミナー物理基礎＋物理の「プロセス」の問題を解いてみて下さい。それができたら「基本例題」、「基本問題」へと進んでいって下さい。問題を解くことで理解が深まると思います。さらに理解を深めるには「フォトサイエンス物理図録」を読むのもよいでしょう。イメージがつかみやすいかもしれません。

また、教科書を読んだだけで内容がつかめない場合は、インターネットでのコンテンツを利用する方法もあります。3年生では、「第4編 電気と磁気」が新しく始まります。たとえばパソコンで“高校物理 クーロンの法則”をキーワードとして入力すると、動画も含めて多くのコンテンツが出てきます。豊富な図を使ってわかりやすく説明しているサイトや、講師が黒板やホワイトボードを使って説明している動画や、CGを使って現象を説明している動画などがあります。理解を深めることができると思います。

化 学

3年生では、無機物質と有機化合物を学習します。センター試験では例年これだけで100点中50点弱を占めており、本年度からの共通テストでも大きく変わらないと思われます。覚えることがたくさんありますが、一度覚えてしまえば高得点が期待できます(特に無機物質)。

休校中には、まず化学基礎の「電子配置」、「周期表」、「化学結合」を復習しておいてください。無機物質や有機化合物の性質を知るうえで重要です。

次に、教科書、図表で無機物質の単元をよく読んで物質の性質や反応などを覚えてください。量が多いので、毎日少しずつ覚えていくこと。最後に、セミナーの問題で覚えたことを確認しておくこと。

2年生の復習もセミナーを解くなどしておこう。(セミナーの発展問題まで解ければ、一般的な国立大学に合格できるだけの力が身につきます。)

生 物

生物の共通テストでは、分厚い教科書の方からの出題がほとんどです。すでに第1編は終了しているので、そちらの復習を重点的に行いましょう。復習の仕方としては、授業プリントや教科書を利用して、第1章の流れや現象、語句を理解しながら復習し、インプットしていく。そのあと、アウトプットとして、リードなどの練習問題に挑戦するとよい。

余裕がある人は、生物の予習をしましょう。教科書を読んで理解するのが前提ですが、生物のWEB教材として「WEB玉塾 生物」「トライイット 生物」などが挙げられます。そちらを見てイメージを持つとよいでしょう。